

透析室を改築しました

当院の透析室は平成 15 年 7 月に、ベッド数 10 床で開設しました。小規模な透析施設という特色を生かし、「きめ細かい医療と看護」をスローガンに日々の診療を行ってきました。

時に透析患者の通院は大きな負担となります。「年齢を重ね、遠くの病院に透析の通院が大変になってきた。近くの病院で透析をしたい。」といった透析患者の声が多く聞かれるようになってきました。そのような通院が困難となった本宮市、大玉村の透析患者の受け皿として機能したいとの思いで、透析室のベッドを 20 床に増床しました。

少しでも安心して透析を行っていただけるよう、透析導入（シャント手術）からシャントトラブル（血管内治療）まで、透析医療に関わる診療は自院で完結できる体制をとっております。また、血液透析だけでなく、腹膜透析の診療も行っておりライフスタイルに合わせた治療選択を行っております。

腎臓内科専門医、透析専門医の知識と経験を基に、軽度の腎障害から透析まで幅広く診療を行うことが可能ですので、何か御座いましたら相談いただければ幸いです。

引き続き「きめ細かい医療と看護」をスローガンに、地に足をつけた診療を行っていこうと思います。どうぞよろしく申し上げます。

慈久会 谷病院 内科 谷 良宏